

としょかん つうしん

11月号

11月号のテーマは「ユーモア・ことばあそび」です。だじゃれ、なぞなぞなどのことばあそびの絵本や、絵本ならではの奇想天外な展開があったりと絵本は楽しいものです。そんな絵本の世界をのぞいてみませんか？



「ふたたぬききつねねこ」

年少向け

馬場のぼる著 　こぐま社

子どもの好きな”しりとりあそび”の絵本です。朝、おひさまが「まど」を照らすと、「ドア」をあけて出てきたのは「あほうどり」というように、しりたりの言葉だけの絵本のように見えますが、読んでいくと愉快なお話が見えてきます。次には「りんご」「ごりら」「らっぱ」「パイナップル」・・・などなど。しりとりといっしょにどんどん物語の世界が広がります。後半には「ゆき」「きりぎりす」「すとーぶ」と続き、冬を感じられます。その2もあります。



「よかったね ネットくん」

年中向け

レミーニチャーリップぶん・え
楷成社

ある日、ネットくんにびっくりパーティーの招待状が届きます。遠い田舎なので飛行機で出かけて行こうとしたら、途中で爆発。でも、パラシュートがあって助かった。と思ったら、パラシュートに穴が・・・でも、落ちたところはほし草の山。で、また助かったと思ったら・・・と。こんな調子で、不運なことと幸運なことが交互におきます。ページをめくるたびに、ハラハラしたり、ほっとしたりするお話です。



「きょうはなんのひ?」

年長向け

瀬田貞二作　林明子絵
福音館書店

まみこちゃんは両親の結婚記念日にお母さんに「きょうはなんのひ？」と謎かけをして学校に行きます。さあ、お母さんの謎さがしが始まりました。ある場所に行くと次のヒントが書かれた手紙が置いてあり、また次の場所に行くとその次の場所のヒントがあるように家じゅうに手紙が置かれています。すべての手紙の最初の文字を並べてみると「なんのひ」かがわかるという、それはまみこちゃんの考えたステキなサプライズ。まみこちゃんの両親を想う気持ちのいっぱい詰まった心やさしい絵本です。